

大会企画セミナー:透析医療の AI 技術導入による発展の可能性

人工知能 (artificial intelligence: AI) は、言語の理解や推論、問題解決などの知的行動を人間に代わってコンピューターに行わせる技術として開発されてきました。一口に AI 技術といっても、機械学習、画像認識、音声認識、自然言語処理といったさまざまな技術があり、それぞれ活用できる分野が違ってきます。現在、これらの技術は、それぞれ精度が上がり、さまざまな分野で広く活用されるようになってきました。

今後、透析医療に AI 技術が導入されていく可能性を考えたとき、そもそも AI 技術とは何なのか、またそれぞれの技術はどういった特徴があり、何ができるのかといったことを知っておく必要があると考え、本セッションを企画しました。講演1では、実際に機械学習を使って透析中の低血圧の予測を行った研究の実例を通して、AI 技術を使う上で知っておくべき基本的な知識と実際の応用方法を、講演2では、それぞれの技術の特徴を踏まえ、透析医療のどういったところに AI 技術を活用できる可能性があるのかを、ご講演いただきます。

【講師】

「AI 技術、機械学習とは～必要な知識と実際～」

川崎 路浩 (神奈川工科大学 健康医療科学部 臨床工学科)

「近未来の透析医療とAI 技術～ AI 技術の利点はどこに活かせるか?～」

小久保 謙一 (北里大学 医療衛生学部)

【座長】

長沼 俊秀 (大阪透析研究会 総務委員長/

大阪市立大学大学院医学研究科 泌尿器病態学)

西村 昌美 (近畿大学病院 臨床工学部)

(敬称略)